

# いせ



第59号

令和2年5月1日号

発行／伊勢市議会  
編集／議会のあり方調査特別委員会  
広報検討分科会

## 市議会だより

題字 厚生小学校6年（現在厚生中学校1年） 森下 陽太 さん



### 主な記事

- 3月定例会の概要 ..... 2ページ
- 予算特別委員会の概要 ..... 3ページ
- 審議した主な議案の内容 ..... 4ページ
- 市政を問う（議案質疑・一般質問） … 6～10ページ
- 市議会防災訓練 ..... 12ページ

### 「雨の横輪桜」

伊勢市西豊浜町の野呂孝則さんにご投稿いただきました。

撮影日 2017年4月8日

～野呂孝則さんのコメント～

雨の横輪桜も風流があります。

横輪桜の開花時期はソメイヨシノより数日遅れますが、濃いピンク色で香りのある直径5～6cmほどの大輪の花を咲かせます。

### 3月定例会

# 令和2年度一般会計予算を可決 7.8% (約40億円) 増の予算

## 「共生社会の実現」と「スマートシティの推進」の視点を意識し、取り組む

### 3月定例会の概要

令和2年3月市議会定例会は、2月25日から3月23日までの28日間の会期で開会しました。

今定例会では、市長から令和2年度予算や令和元年度補正予算をはじめとする47議案が提出され、本会議、予算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決、人事案件については同意しました。

そのほか発議2件を可決しました。

また、3月2日および3日の本会議では、延べ9人の議員が議案質疑、一般質問を行いました。

なお、本会議において、「一般会計予算」と「介護保険特別会計予算」について、反対討論がありました。

3月定例会で審議した主な議案の内容は、4ページ、議決結果は4〜5ページをご覧ください。

### 当初予算の概要

平成30年7月に策定された第3次伊勢市総合計画に掲げた7つのまちづくりの主要課題である「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「超高齢社会への対応」、「地域のつながりの再生」、「集約型都市構造の促進と公共交通体系の整備」、「選ばれるまちづくり」、「自然災害への備え」、「有形・無形の歴史的・文化的資産の継承と活用」に対応した実効性のある施策を引き続き進めていくための予算が組まれました。

特に令和2年度では、「共生社会の実現」と「スマートシティの推進」の視点を意識し、取り組んでいくこととなります。

### 予算特別委員会の設置

3月2日開催の本会議において、「一般会計予算」外9件を詳細に審査するために予算特別委員会が設置され、分科会として「総務政策分科会」、「教育民生分科会」および「産業建設分科会」を設置しました。

3月5日から11日のうち5日間で、一般会計、各特別会計および各企業会計の令和2年度予算について分科会方式で審査しました。

- 5・6日・産業建設分科会
- 9・10日・教育民生分科会
- 11日・総務政策分科会

### 予算特別委員会 採決結果

賛成多数で可決すべしと決定

- 一般会計
- 介護保険特別会計

全会致で可決すべしと決定

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 住宅新築資金等貸付事業特別会計
- 観光交通対策特別会計
- 土地取得特別会計
- 病院事業会計
- 水道事業会計
- 下水道事業会計

分科会審査の詳細は3ページをご覧ください。



本会議での市長答弁（3月2日）

産業建設分科会

○一般会計

歳出

総務費 公共交通の再編など。  
 労働費 若年者・女性の就業支援など。  
 農林水産業費 農作物のブランド化、獣害対策、木材利用の促進など。  
 商工費 中小企業支援など。  
 観光費 外国人観光客受け入れ、観光情報発信など。  
 土木費 地籍調査、踏切道対策、道路整備、空家対策など。

○特別会計・企業会計

住宅新築資金等貸付事業特別会計  
 観光交通対策特別会計  
 土地取得特別会計  
 水道事業会計  
 下水道事業会計



辻孝記会長審査結果報告

教育民生分科会

○一般会計

歳出

民生費 健康ポイント事業、伊勢市駅前福祉拠点施設の整備、障がい者サポーター制度、保育のICT化、子どもの学習支援、児童虐待相談など。  
 衛生費 路上喫煙禁止区域の設置、食品ロス削減など。  
 教育費 英語力の向上、教員の業務軽減、成人式、学校でのICT機器の導入、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーなど。

○特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計  
 後期高齢者医療特別会計  
 介護保険特別会計  
 病院事業会計



福井輝夫会長審査結果報告

総務政策分科会

○一般会計

歳入

総務費 職員不祥事の抑止、職員の人材育成、ふるさと応援寄附金、シティブロモーション、ICTの活用、キャッシュレス化の推進、学校跡地の活用、まちづくり協議会の方向性、コミュニティ放送の充実、防犯カメラ設置の推進、マイナンバーカードの運用など。  
 消防費 防災センターの活用、食料備蓄数の目標達成など。

歳入

法人市民税等収入の動向、所有者不明等の固定資産税の適切な賦課徴収、合併特例債の活用、新たな財源の確保など。



鈴木豊司会長審査結果報告



藤原清史委員長審査結果報告

3月18日の予算特別委員会全体会で、辻孝記産業建設分科会会長、福井輝夫教育民生分科会会長、鈴木豊司総務政策分科会会長から審査結果の報告がありました。

また、3月23日の本会議で、藤原清史予算特別委員会委員長から予算全体の審査の結果報告がありました。会議の動画は、伊勢市議会ホームページまたは左のQRコードを読み取って視聴してください。



本会議 (3月23日)



予算特別委員会 (3月18日)

QRコードの掲載について

「いせ市議会だより」ではYouTubeを利用した録画放送へリンクするQRコードを掲載しており、スマートフォンやタブレットで読み取ると、会議の様子が視聴できます。

※QRコードを読み取るためのアプリが必要です。インストールされていない方は、インストール後にご利用ください。

視聴方法

アプリを起動してスマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ってください。画面上にURL（アルファベットの文字列）が表示されますので、クリックし、YouTube（外部サイト）を選択してください。

※機種やアプリによって操作方法は異なります。  
※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。



審議した主な議案の内容

令和元年度補正予算

▽令和元年度伊勢市一般会

計補正予算(第7号)

▲10億5332万1千円

通常の最終的な計数整理に伴う補正予算を計上したもので、主な歳出は次のとおり。

総務費

早期退職者等の退職手当の支給に要する経費、基金利子積立事業では増額補正を、自治区振興事業では減額補正をするもの。

民生費

特定教育・保育施設型給付事業では増額補正を、障害者介護給付等事業、児童扶養手当支給事業では減額補正をするもの。

農林水産業費

林業振興一般経費、森林整備事業では増額補正を、

担い手対策事業、県営事業負担金では減額補正をするもの。

土木費

街路整備事業では増額補正を、排水施設整備事業、中心市街地再生事業では減額補正をするもの。

▽令和元年度伊勢市一般会

計補正予算(第8号)

4億3859万7千円

国の補正予算および国庫支出金等の追加配分の内示に基づき追加補正をするもの。

条例

▽伊勢市行政組織条例及び

伊勢市子ども・子育て会

議条例の一部改正

公共施設マネジメントの推進を図るため新たに「資産経営部」を設置するもの。また、現行の「こども課」の担当事務について、子育て環境の整備や相談支援等

を行う「子育て応援課」と就学前の教育・保育全般を担う「保育課」の2課体制とすることに伴い関係条例の改正を行うもの。

施行期日

令和2年4月1日

▽おおぞら児童園新築工事(建築工事)の請負契約

おおぞら児童園の建築工事の請負契約をするもの。

・請負業者

株式会社西邦建設

・契約金額

2億1340万円

・施設概要

鉄骨造平屋建

延べ面積772.47㎡

集団療育を行う療育室や

遊戯室、個別で訓練を行う

作業療法室や言語指導室等

のほか、利用者との相談に

使用する相談室や、会議や

研修を実施する会議室を配

置する。

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

全会一致の案件

〔議案〕

議案番号	案件名	審議結果等
議案第 3 号	令和2年度伊勢市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第 4 号	令和2年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第 6 号	令和2年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第 7 号	令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計予算	原案可決
議案第 8 号	令和2年度伊勢市土地取得特別会計予算	原案可決
議案第 9 号	令和2年度伊勢市病院事業会計予算	原案可決
議案第 10 号	令和2年度伊勢市水道事業会計予算	原案可決
議案第 11 号	令和2年度伊勢市下水道事業会計予算	原案可決
議案第 12 号	令和元年度伊勢市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第 13 号	令和元年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 14 号	令和元年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 15 号	令和元年度伊勢市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第 16 号	令和元年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 17 号	令和元年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算(第2号)	原案可決

議案第 18 号	令和元年度伊勢市土地取得特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第 19 号	令和元年度伊勢市病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第 20 号	令和元年度伊勢市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第 21 号	令和元年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第 22 号	伊勢市簡易水道事業を伊勢市水道事業に統合することに伴う関係条例の整備	原案可決
議案第 23 号	伊勢市行政組織条例及び伊勢市子ども・子育て会議条例の一部改正	原案可決
議案第 24 号	伊勢市監査委員条例の一部改正	原案可決
議案第 25 号	伊勢市附属機関条例の一部改正	原案可決
議案第 26 号	市長等の伊勢市に対する損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定	原案可決
議案第 27 号	伊勢市一般職の任期付職員の採用等に関する条例等の一部改正	原案可決
議案第 28 号	伊勢市職員の修学部分休業に関する条例の制定	原案可決
議案第 29 号	伊勢市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定	原案可決
議案第 30 号	伊勢市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定	原案可決
議案第 31 号	伊勢市職員定数条例等の一部改正	原案可決
議案第 32 号	伊勢市職員給与条例の一部改正	原案可決
議案第 33 号	伊勢市森林環境譲与税基金条例の制定	原案可決
議案第 34 号	伊勢市立保育所条例の一部改正	原案可決
議案第 35 号	伊勢市重度身体障害者デイサービスセンター条例の廃止	原案可決
議案第 36 号	伊勢市国民健康保険条例の一部改正	原案可決
議案第 37 号	伊勢市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	原案可決
議案第 38 号	鳥羽市との定住自立圏形成協定の変更	原案可決
議案第 39 号	志摩市との定住自立圏形成協定の変更	原案可決
議案第 40 号	玉城町との定住自立圏形成協定の変更	原案可決
議案第 41 号	市有財産の無償譲渡	原案可決
議案第 42 号	おおぞら児童園新築工事（建築工事）の請負契約	原案可決
議案第 43 号	市道の路線の認定	原案可決
議案第 44 号	伊勢市副市長の選任につき同意を求めること	同意
議案第 45～46号	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと	同意
議案第 47 号	令和元年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第 48 号	伊勢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決

〔発議〕

発議第 1 号	常任委員会の閉会中の継続調査	原案可決
発議第 2 号	伊勢市議会委員会条例の一部改正	原案可決

賛否の分かれた案件

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	24	25	26
議員名	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	世古	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	小山	浜口	山本	宿典	世古	中山
議案番号	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	明	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	敏	和久	正一	典泰	新吾	裕司
議案番号	案件名												審議結果												
議案第 2 号	令和2年度伊勢市一般会計予算												賛成多数 原案可決												
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 5 号	令和2年度伊勢市介護保険特別会計予算												賛成多数 原案可決												
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ・ ○は賛成、×は反対。世古議長は通常採決に加わりません。
- ・ 中山議員は、3月23日の本会議を欠席。

# 市政を問う

3月定例会では、3月2日および3日の2日間、3人の議員が議案質疑を、8人の議員が一般質問を行いました。

質疑・質問と答弁の内容を要約してお知らせします（発言順に記載）。

**議案質疑** …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

**一般質問** …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

## 議案質疑

議案第2号

令和2年度伊勢市一般会計予算

## 来年度の美術展覧会の出品規格は

**答** 運営委員会で、各部門の専門的な見地も入れて協議いただいている



吉岡 勝裕 議員  
(勢風会)



**問** 今年度の美術展覧会において、お一人の運営委員の特別出品の作品を展示しないこととなった。来年度の出品規格の考えは。

**答** 出品作品の規格等については、運営委員会で各部門の専門的な見地も入れ、他市の美術展覧会の規格や条件も参考に協議していただいている。特別出品の作品については、作品の大きさ以外は一般作品に準じていきたい。

**問** 来年度の運営体制は。

**答** 伊勢市・教育委員会・観光文化会館の指定管理者である(株)ケイミックス

パブリックビジネスの3者共同主催とし、運営委員会を開催しながら実施したい。

**問** 運営委員会の委員は。

**答** 現在の委員の任期が令和3年3月末までとなっているため、第67回は、現在の10人の運営委員で審議していただく。

**問** グラフィックデザイン部門の一般出品は12作品しかなかった。来年度の募集は。

**答** 作品募集の周知方法、表彰点数などを総括し、他部門への統合も含め検討していきたい。

**問** 受賞率が50%の部門があったが、他部門と不公平にならないようにするべきでは。

**答** 各部門の受賞率をおおむね2割になるよう調整してきたが、出品数が想定より少なかつたため高い結果となった。運営委員会で検討していきたい。



伊勢市美術展覧会

議案第2号

令和2年度伊勢市一般会計予算

会計年度任用職員の期末手当は、国の想定よりも低い1.45カ月だが

再任用職員の支給率を上回らない範囲とした



楠木宏彦 議員 (日本共産党)



問 この制度は来年度から取り入れられるが、対象になる非正規職員は何人か。

答 855人である。

問 総務省は期末手当2.6カ月を見込んで、地方交付税措置をしているが。

答 地方交付税措置ではなく、特定財源で措置されるのであれば対応してまいりたい。

問 現在のフルタイム非正規職員のほとんどは、パートタイムの会計年度任用職員になる。15分ないしは30分の短縮でパートタイムにするというのは、不合理ではないか。

答 職場で勤務する時間を

議案質疑

考慮したうえで、それが業務が遂行できると考えたものである。

問 保育現場などでは、子どもの安全、保育の質に問題は出ないか。特に障害を持った子どもたちについて、不安があるがどうか。

答 保育士の勤務をシフトで調整して、対応していきたい。

問 職員の意向を確認しているか。

答 業務を効率的に進める観点で各職場で判断していただいた。

問 この制度で、ワーキングプアの問題は解決できる

と考えるか。

答 生活困窮の制度も使って取り組むべきものである。

問 再度の任用については、どのようになるか。

答 人事評価によるが、一定年数経過したときは、面接などによる。



老朽化した多くの公共施設の更新・維持管理経費の抑制は

「資産経営部」を新設し、スピード感を持って対応する



鈴木豊司 議員 (洗心)



問 公民館の建設、維持管理は、全市一律に公平性に配慮した対応が必要で、早期に各自治会への譲渡を進めるべきではないか。

答 公共施設のマネジメントは、「公共施設等総合管理計画」に基づき実施することとしている。市町村合併前の公費で建設、維持管理してきた公民館等は、地元自治会に譲渡する方針で、現在、一部自治会での説明会や施設の基礎調査を行っており、早期譲渡の実現に努めたいと考える。

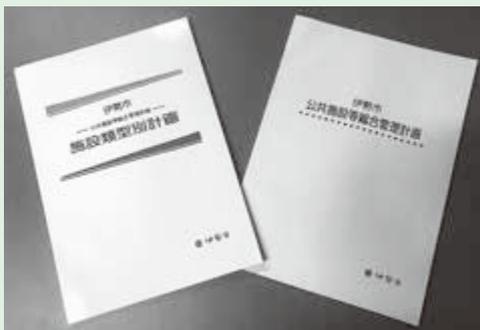
問 雇用能力開発機構が建設した「やすらぎ公園プール」も、築後40年が経過し、老朽化の進行と利用者が減少している現状の中で、いつまで存続させるつもりなのか。

答 総合管理計画では、大規模改修や更新は行わない方針であるが、使用できる間は市民へのサービスを提供し続ける現状にある。

職員の服務について

問 近年、職員の不祥事が多く続き、市民の皆さんにご心配をかけているが、不祥事に対する市長の思いと職員への綱紀粛正の現状をお聞きしたい。

答 職員の不祥事は、市政の信頼を著しく損なう行為であり、被害に遭われた方や市民の皆さんに、深くお詫びを申し上げたい。今後は今まで以上に職員の綱紀粛正を徹底し、服務規律の確保に努めたい。



一般質問

一般質問

コロナウイルスの対策にリーダーシップをとって頂きたい

国難に近い状況であり、しっかりと努めてまいりたい



品川 幸久 議員 (政友会)



- 問 伊勢病院の院内感染防止はどうなっているのか。
- 答 感染症専用のウイルスが外部に流出しない陰圧室において対応している。また、お見舞い、面会については、家族限定とさせてもらい、発熱、せきの症状のある方はお断りをさせていただいている。
- 問 観光客の影響はいかがか。
- 答 団体旅行は2月は減らなかつたが、3月4月はほとんどキャンセルになった。
- 問 経済に影響が出る。準備が必要であると思うが。
- 答 本日(3月2日)付でセーフティネットの4号承認がされた。市としても可能な限り支援の構築を考えたい。
- 問 急遽全校休校となり、教育委員会の決断は大変だったと思う。これから色々と問題が出てくると思うが。
- 答 その都度校長会を開き、情報を共有し対応したい。
- 問 修学旅行はどうなるのか。できれば校長判断でなく教育委員会指導ですべきであると思うが。
- 答 校長会を開き、9月以降に実施するように依頼し、調整を図っている。
- 問 防災としても被災後伝染病のこともあり、マスクの備蓄が必要であると思うが。
- 答 現在、市として3万9

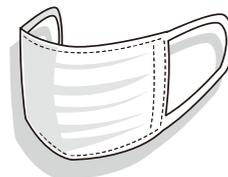
000枚ほど備蓄があるが、防災としても考えていきたい。

伊勢市の特殊詐欺被害対策について

伊勢警察や自主防犯団体連絡会と連携し、啓発活動を実施する



野口 佳子 議員 (志誠会)



- 問 高齢者を対象とした防犯講習会の開催について聞きたい。
- 答 寸劇で特殊詐欺の手口を紹介するなど、わかりやすく伝えている。
- 問 特殊詐欺の被害が発生したときの対策はどうか。
- 答 伊勢警察署と連携し、防犯メールで注意喚起を行っている。
- 問 特殊電話の有効な対策の自動通話録音警告機の設置について聞きたい。
- 答 公益社団法人三重防犯協会連合会であつせんをしており、講習会でチラシを配布している。警告機をつける方も増えてきた。
- 地域の支え合い体制について
- 問 高齢者が身近な地域で集える場の必要性について聞きたい。
- 答 3、4年以上継続して参加することで介護給付費を抑制する効果があり、介護予防の推進において重要であると考えている。
- 問 住民主体の集いの場の立ち上げ支援はどうか。
- 答 平成27年度から生活支援コーディネーターを1名配置し、市全体の地域資源や課題の把握を行い、平成28年度からは、身近な地域を担当する生活支援コーディネーターを4カ所に配置し、集いの場の立ち上げ支援を行っている。
- 問 社協が助成している集いの場について聞きたい。
- 答 147カ所あり、4年間で新たに31カ所立ち上がり、住民主体で継続的に活動を行っている。



防犯啓発バッグ

※セーフティネットの4号承認…中小企業者への資金繰り支援措置として、経済産業省が発動する措置。新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小企業者について、一般保証と別枠の保証が利用可能となる。

# 三重とこわか大会（全国障害者スポーツ大会）について問う

**答** 大会を契機に、障がい者の社会参加を進めていきたい



中村 功 議員  
(志誠会)



**問** 大会開催の目的は何か。

**答** 障がい者が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的としている。

**問** 大会開催まで、どのようなことに取り組んでいくのか。

**答** 各種イベントに参加し、啓発を行っていくほか、プレイベントやリハーサル大会を開催していく。

**問** 大会運営にはボランティアが必要であるがどのように考えているのか。

**答** 令和元年10月から約3400名の募集を行っており、運営ボランティアとして

## 一般質問

て中学生以上を募っている。

**問** 輪を広げる取り組みが必要と考えるが、将来どのように取り組んでいくのか。

**答** まずは、障がい者スポーツの普及を図ってきたい。

**SDGs(エスディーゼイズ)の取り組みについて**

**問** SDGsはどのように取り組まれているか。

**答** 達成に向け、各事業において、取り組んでいる。

**問** 職員の認識はどうか。

**答** 十分に認識している職員はまだ少ない。

**問** 今後どのように進めていくのか。

**答** 各計画において、SDGsを意識した進行管理を行う等、職員の意識付け、理解促進を図っていきたい。



## 犯罪被害者支援条例や見舞金について検討しているのか

**答** 見舞金を盛り込んだ条例制定を考えている



吉井 詩子 議員  
(公明党)



**問** 再犯防止計画策定の目的と取り組みについて聞きたい。

**答** 再犯者が増えている現状において、住民に身近な行政が再犯防止を推進していく必要がある。罪を犯した人の更生を支援する保護司、更生保護女性会の方々、協力雇用主や警察、宮川医療少年院など関係機関と連携しながら計画策定を進めたい。

**問** 三重県が策定した再犯防止計画には、国の指針とは別に県独自に犯罪被害者の視点を入れている。市でもそうすべきではないか。

**答** 県のやり方も一つの手法であるが、国の求める観点での取り組みから進めたい。

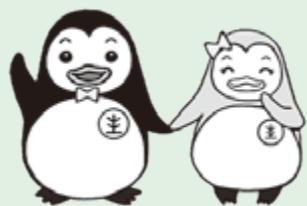
**問** 再犯防止計画策定より先に被害者支援条例を制定すべきである。そのことにより、再犯防止に関しての市民の理解がより深まるのではないかと考えを聞きたい。

**答** 犯罪被害者には誰がいづなるかわからない。先行して犯罪被害者支援を行う

ことで再犯防止への理解が深まるということは十分考えられるので、再犯防止と同時に犯罪被害者の支援に取り組んでいくところである。

**問** 犯罪被害者支援については、更生支援と同じように福祉的な視点が必要である。危機管理部門でなく福祉部門が担当すべきではないか。

**答** 犯罪被害者にとつての利便性を考慮し、担当について検討したい。



更生保護のマスコットキャラクター  
「更生ペンギンのホゴちゃん和サラちゃん」

※SDGs (Sustainable Development Goals) …2015年の国連総会で採択され、2030年の達成を目指す世界の共通目標。17の大きな目標と169の具体策で構成されている。

一般質問

中学校における校則の見直しは進んでいるか



楠木 宏彦 議員 (日本共産党)



答 生徒議会や職員会議などで、毎年見直しを行っている

問 校則の見直しはどのように進められているか。

答 保護者にアンケートを取り、出てきた意見や要望について見直しを図っている。

問 PTA、あるいは学校運営協議会などの場で話し合ってもらうことが大切だと思いが。

答 一つの方法として、校長会で提案させていただく。

問 経済的な負担を考慮して、靴の色などを決めていると言われるが、緩和あるいは自由にした方が経済的な負担は軽くなるのでは。

答 経済的なことについても観点に入れながら、検討を行っている。

問 過去の校則を無批判に

踏襲している学校もある。本時代に合っているのか、検討しているのか。

答 現在の社会の状況に対応した校則になるよう、校長会等でも話し合いを持っていきたい。

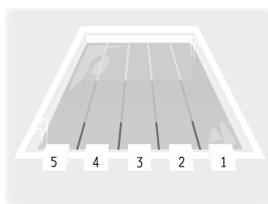
小学校の水泳指導について

問 水泳場の確保についての方針は。

答 中学校のプールは新規の建設および改築は行わない。中学校においては水泳の事故防止に関する心得、小学校では水難事故から身を守る力を身につけるために、学習指導要領にのっとって学習を続けている。

問 昨夏は学校水泳、自由水泳が猛暑でできないケースがあったようだ。

答 小学校の学校水泳については、実施すべき回数にはできなかった。自由水泳は、23校中8校で実施していない。



安全運転サポート車（サポカー）補助制度を新設する考えはないか



答 県が4月から実施予定の制度に合わせて検討する

辻 孝 議員 (公明党)



問 国はサポカー補助金制度を緊急対策として始めたが、伊勢市でもサポカー補助金制度の創設の考えはないか。

答 国は65歳以上の高齢者を対象に、サポカーの購入者や後付けのペダルの踏み間違ひ急発進抑制装置の販売者に補助する。三重県でも70歳以上の高齢運転者を対象に、市町が後付け装置を補助する場合、設置費等の一部を市町に対し支援する制度を令和2年度から実施予定となっている。市としても、県と連携して補助金制度を検討する。

問 県の制度の詳細は。

答 今後、県に確認する。

問 市の制度として、県と同様に4月から適用できるようにするには。また、高齢者の対象も国と同様に65歳以上とし、たくさんの方が補助を受けられるようにしたらどうか。

答 提案も参考に制度のあり方を今後検討していく。

就職氷河期世代への支援について

問 この世代へ、どのような支援をしていくのか。

答 関係機関と連携し、体制の構築を目指すとともに、国の制度活用を検討する。また、市職員の来年度採用に向けて検討していく。

子宮頸がん予防ワクチンについて

問 予防ワクチン接種の告知を増やすべきでは。

答 MR（麻しん）接種時期（就学前）に加え、DT（ジフテリア、破傷風）接種時期（小学6年生）にもお知らせする。



※MR…麻しん、風しん混合ワクチン ※DT…ジフテリア、破傷風混合ワクチン

# 議員研修会を 実施しました

市議会では、議員の資質の向上を図るため、議員研修会を実施しています。

2月20日、元佐賀県武雄市長、樋渡啓祐氏（ひわたしけいすけ）を講師に招き、『防災対策』をテーマにご教示をいただき、今後の議会活動に生かすための研修を行いました。



## 議会日誌

### 3月定例会日程

- 1月**
  - 7日。議会運営委員会
  - 14日。1月臨時会
    - 。産業建設委員会
    - 。教育民生委員会
  - 17日。広報検討分科会
  - 24日。広聴検討分科会
- 2月**
  - 10日。産業建設委員会
    - 。同協議会
  - 12日。教育民生委員会
    - 。同協議会
  - 13日。総務政策委員会
    - 。同協議会
  - 17日。市議会防災訓練
  - 18日。議会運営委員会
    - 。同協議会
  - 20日。議員研修会
  - 25日～3月23日
    - 。3月定例会
  - 29日。各派代表者会議
- 3月**
  - 13日。産業建設委員協議会
  - 17日。総務政策委員協議会
  - 18日。各派代表者会議
  - 23日。各派代表者会議
    - 。議員定数検討会

- 2月**
  - 25日。本会議
    - （議案の提案説明等）
    - 。全員協議会
    - 。広報検討分科会
- 3月**
  - 2日。議会運営委員会
    - 。本会議（議案質疑・委員会審査付託・一般質問）
    - 。予算特別委員会
    - （全体会）
  - 3日。本会議（一般質問等）
  - 5日。予算特別委員会
    - （分科会審査（～11日））
    - 。産業建設分科会
    - 。産業建設分科会
    - 6日。産業建設分科会
    - 9日。教育民生分科会
    - 10日。教育民生分科会
    - 11日。総務政策分科会
    - 13日。産業建設委員会
    - 16日。教育民生委員会
    - 17日。総務政策委員会
    - 18日。予算特別委員会
      - （全体会）

**6月定例会は、6月15日～7月1日** の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

### 各種ご案内

#### 3月定例会会議録

3月定例会の詳細は、「3月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ6月下旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

#### 議会の傍聴

伊勢市議会では、本会議、常任委員会、特別委員会を原則公開しており、どなたでも傍聴することができます。

身近で大切な問題を審議していますので、議会事務局または伊勢市議会ホームページで日程をご確認のうえ、傍聴にお越しください。

# 表紙の題字は

厚生小学校の皆さんに書いていただきました。  
今回は、森下陽太さんの「いせ」を採用しました。



## 伊勢の好きなところ

僕は田舎でも都会でもなくて、伊勢神宮という誇れる場所もあって、町の人も優しく、最高のまちだと思うので伊勢市が好きです。

厚生小学校 6年（現在厚生中学校 1年） 森下 陽太

いせ市議会だよりの表紙の題字は、伊勢市内の小学生から募集したものを学校ごとに掲載しています。

次号は、神社小学校の皆さんの作品を採用する予定です。

## 「いせ市議会だより」の表紙写真を募集しています

詳細については、伊勢市議会ホームページをご覧ください。



表紙写真募集  
のQRコード



## 市議会防災訓練を実施しました

伊勢市議会では、昨年、「伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）」を策定しました。計画の中では、大規模災害が発生した場合を想定し、災害の初動期において非常参集、安否確認、非常通信等の防災訓練を実施することとしています。

このことに基づき、令和2年2月17日に市議会防災訓練を初めて実施しました。訓練では市議会の災害に対する意識の醸成と対応行動の習得を図ることを目的としました。

### ○ 議会BCPの対象とする想定災害

1. 伊勢市内で震度5強以上の地震が発生したとき
2. 伊勢市に大津波警報が発表されたとき
3. 暴風、豪雨、洪水、土砂災害などで局地的又は広範囲な災害が発生したとき
4. 伊勢市内で大規模な火災、爆発、水難等が発生したとき
5. その他重大な災害が発生したと議長が認めるとき



TEL ① 5630  
FAX ② 5631  
Eメールアドレス  
gikai@city.ise.mie.jp

〒516-8601  
伊勢市岩渕1丁目7番29号

問い合わせ先  
伊勢市議会事務局（本館3階）

委員	久保 真
副会長	宮崎 誠
会長	吉井 詩子
	浜口 和久
広報検討分科会	

### 編集

議会のあり方調査特別委員会

小山 敏	品川 幸久	岡田 善行	鈴木 豊司	北村 勝	久保 真	宮崎 誠	吉井 詩子	浜口 和久
------	-------	-------	-------	------	------	------	-------	-------